

五泉市地域公共交通総合連携計画について

資料2-1

概要

マイカー利用の増大、人口減少などの社会情勢変化によって、民営バス路線の廃止・減便が進むなど、地域全体の公共交通の維持・確保が喫緊の課題となっている。また、高齢者や高齢者のみの世帯が増加しており、今後もこの傾向が続くと見込まれることから、高齢者も利用しやすい、市内全域を補完できる公共交通体系の整備が課題となっている。

以上の課題を踏まえ、鉄道、バス、タクシー等の連携による「幹から枝まで」の効率的・体系的公共交通システムの構築を目指し、五泉市地域公共交通総合連携計画を策定する。

〇地域公共交通の現況

- ・鉄道;JR磐越西線(北五泉駅、五泉駅、猿和田駅、馬下駅、咲花駅)
- ・高速バス;新潟交通観光バス(株)・蒲鉄小型バス(株)(共同1路線)
- ・路線バス;新潟交通観光バス(株)(4路線)、蒲鉄小型バス(株)(3路線)
- ・コミュニティバス;(3路線:木越線、刈羽線、香ヶ見線)
- ・タクシー;4社

〇地域公共交通の課題

- ①人口減少が進む中での公共交通の維持充実
- ②増加する高齢者に対応した優しい公共交通体系の構築
- ③市の財政負担軽減と利便確保に配慮した地域密着型の交通網構築
- ④鉄軌道の有効利用
- ⑤行政との連携の中で事業者が民業として持続可能な公共交通体系
- ⑥地球環境保全の視点からの公共交通への転換促進
- ⑦まちの活性化の視点からの公共交通の検討

〇調査の主な内容

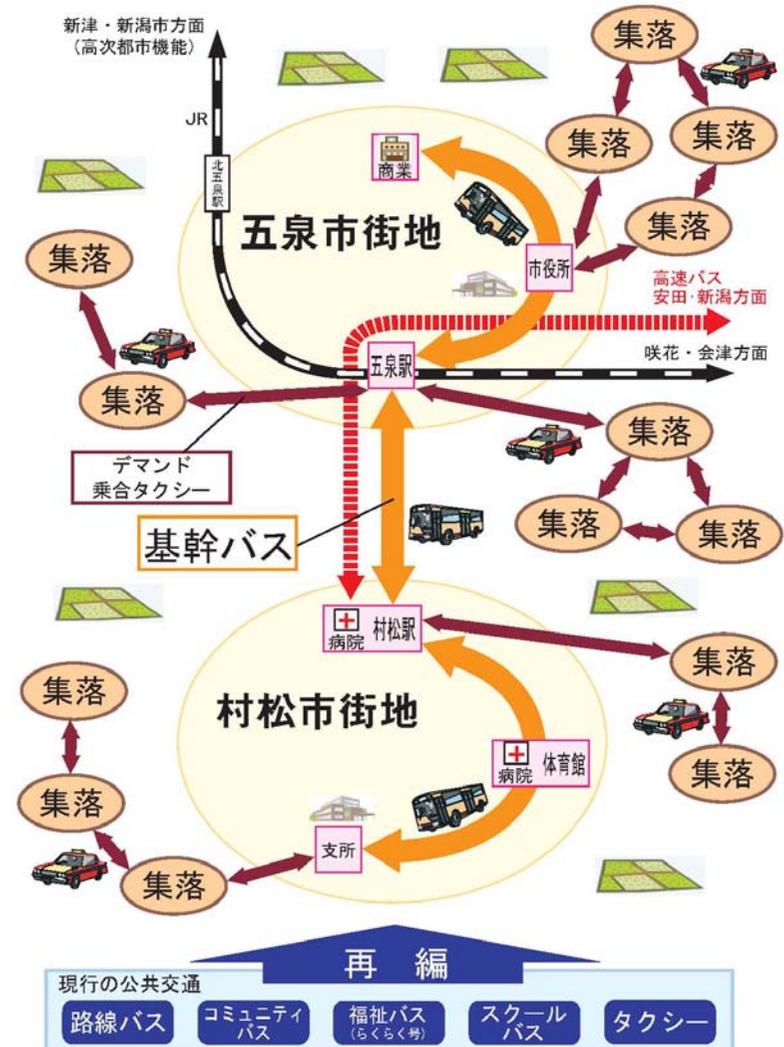
- ・基幹バス・デマンド乗合タクシーの運営・運行手法調査
- ・利用者ニーズ把握調査
- ・住民意見交換会
- ・沿線企業等からの協賛金制度導入に関する調査

地域公共交通総合連携計画実施のフロー
(資料2-2)参照

〇地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・車から公共交通への乗換えに対する市民意識の醸成手法の検討
- ・市内バス網の再編検討
- ・鉄道、バス、タクシー等の連携による「幹から枝まで」の効率的・体系的公共交通システムの構築検討
- ・公共交通に関する地域住民組織の設立と活動支援の検討

将来公共交通の基本的なイメージ



出典:「五泉市公共交通活性化総合プログラム」(H21.3)